

社会資本総合整備計画 事前評価調書

計 画 の 概 要	計画の名称	魚津市における道路構造物の適確な維持管理の推進(防災・安全)
	交付対象	魚津市
	計画期間	平成30年度～平成34年度(5年間)
	計画の目標	老朽化した道路構造物を点検し、これを踏まえた、計画的・戦略的な維持管理・更新を実施することにより、市民の命及び暮らしを守る。
	定量的指標 (目標値)	・消雪施設の老朽化対策率(%)を9.5%(H30)→100.0%(H34)へ増加させる。 ・市民意識調査における道路が整備され、安全で快適・便利になったと感じている市民の割合を45.8%(H30)→59.6%(H34)へ増加させる。
全体事業費	297百万円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する上位計画等との整合性が図られているか	○	魚津市総合計画に位置付けられた内容と整合が取れている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	魚津市総合計画の目標と整合が取れている。
計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されているか	○	整備計画の目標を定量的に図ることができる指標を設定している。
	2 定量的指標が分かりやすいものとなっているか	○	計画の進捗度がわかる指標であり、分かりやすさに配慮した指標となっている。
	3 目標と事業内容の整合性が確保されているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している。
	4 中間評価・事後評価時に検証可能な適切な指標となっているか	○	毎年の統計データや毎年実施している調査結果を基にした指標であり、中間・事後評価時に検証可能かつ適切な指標となっている。
	5 十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、事業効果が得られる計画となっている。
計画の実現可能性	1 計画の熟度が高く、円滑な事業執行の環境が整っているか	○	目標達成に必要な事業を位置付けており、計画の熟度および円滑な事業執行環境は整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元からの要望が強い事業も多く含まれていることから、地元との合意形成など実現に向けた機運が醸成されている。
評価結果	<p>評価Ⅰ 事業を実施</p> <p>評価Ⅱ 計画の見直し</p>	<p>【評価基準】</p> <p>「評価Ⅰ」は、全項目に○印が付いているもの</p> <p>「評価Ⅱ」は、1項目でも×が付いているもの</p>	